

2026年の診療報酬改定

口腔機能管理料が増点

このような皆様は
キケンです!

まだ算定を
行っていない

施設基準を
とるための算定

改定前の算定

検査対象患者を
絞った算定

機器がなく
検査ができていない

ドクターしか
管理・指導について
理解していない

口腔機能管理料の増点は単なる点数アップではありません

2026年6月以降、

口腔機能管理が “加算”から“経営の柱”へ

大きく変化していく国からのサインです!

口腔機能管理型歯科医院へ変化することで

口腔機能の
改善・維持を
実現!

保険売上
のさらなる増加!

スタッフの
やりがい創出・
定着率アップ!

患者の離脱・
キャンセルが
減少!

自費が自然と
成約する!

歯科医院は「削って治す時代」から「生涯守り抜く時代」への転換期に入っています
今後求められる**口腔機能管理型歯科医院モデル**は中面でご紹介します

大阪
会場

2026年
7月20日 10:00~12:30
(受付開始:開始時間30分前~)

東京
会場

2026年
8月2日 10:00~12:30
(受付開始:開始時間30分前~)

2026年 診療報酬改定版

口腔機能管理 完全攻略セミナー

2026年の診療報酬改定にあたって
このようなこと、気になっていませんか?

口腔機能管理料の
算定方法がわからない

診療報酬改定の具体的な
変更点について知りたい

単なる検査や指導に終わらず、
口腔機能の改善につなげたい

患者様への説明のための
資料が準備できていない

口腔機能管理を起点とした
自費診療の案内方法が
わからない

スタッフが自走するための
落とし込み方がわからない

小児
&
高齢者
対応



ゲスト医院 医療法人 近山歯科医院
院長 近山 成宜氏 歯科衛生士 乾 弥生氏

セミナーで全て徹底解説します!

セミナー参加者限定

そのまま
医院で活用
できる!

豪華3大特典をプレゼント!

①実際の医院で指導
している動画が見れる!



②口腔機能管理を含めた
算定点数早見表



③年齢ごとの口腔機能改善
トレーニングツール



主催

ゼロからはじめる
「口腔機能管理型歯科医院」への成り方セミナー

サステナブルグロースカンパニーをもっと。
Funai Soken

株式会社船井総合研究所
〒104-0028 東京都中央区八重洲二丁目2番1号 東京ミッドタウン八重洲 八重洲セントラルタワー35階

お問い合わせNo.

S142712

お申込みは
QRコードから



診療報酬改定2026

必ず押さえるべきポイント

口腔機能管理料が 2段階評価へ

現 行	改定後
【小児口腔機能管理料】 小児口腔機能管理料 60点 [対象患者] 評価項目において 3項目以上に該当する小児	【小児口腔機能管理料】 1 小児口腔機能管理料1 90点 2 小児口腔機能管理料2 50点 [対象患者] 1については、評価項目において3項目以上に該当する患者 2については、評価項目において2項目に該当する患者
【口腔機能管理料】 口腔機能管理料 60点 [対象患者] 学会の診断基準により口腔機能低下症と 診断されている患者のうち、咀嚼能力検査、 咬合圧検査、舌圧検査又は口腔機能定量 検査のいずれかを算定した患者に限る。	【口腔機能管理料】 1 口腔機能管理料1 90点 2 口腔機能管理料2 50点 [対象患者] 学会の診断基準により口腔機能低下症と診断されている患者のうち、 1については、咀嚼能力検査、咬合圧検査、口腔粘膜温度検査、舌圧検査又は 口腔機能定量検査のいずれかを算定した患者、2については、1に該当しない患者

なんとなくの算定から
口腔機能の状態に応じた説明や指導を行い、
きちんと改善する必要がある！

口腔機能実地指導料の 新設

口腔機能に関する実地指導を行った場合の評価

従来、歯科衛生実地指導料の加算としていた、歯科衛生士による口腔機能に関する実地指導を行った場合の評価を、**口腔機能実地指導料として新設**する。

(新) 口腔機能実地指導料 46点

[対象患者]
口腔機能の発達不全を有する患者又は口腔機能の低下を来している患者
[算定要件]
注 口腔機能に係る研修を受講した歯科衛生士が、主治の歯科医師の指示を受けて
口腔機能に係る指導を行い、情報を文書により提供した場合に、月1回に限り算定する。

歯科衛生士が中心となり、
TBI・歯リハ・口腔機能の実地指導・自費MFTを
区別して行う必要がある！

つまり！

スタッフ主導で回る仕組みのもと、全世代の口腔機能の改善ができる

口腔機能管理型歯科医院への進化が必須に！

口腔機能管理算定シミュレーション(例)

チェア台数	5 台
レセプト枚数/月	500枚
小児レセプト枚数	100枚
高齢者レセプト枚数	100枚
小児レセプト単価	6,000円
高齢者レセプト単価	12,000円
保険売上高/月間 (小児+高齢者)	1,800,000円
保険売上高/年間 (小児+高齢者)	21,600,000円

の場合



小 児	
小児口腔機能管理料 合計点数	150~190点
小児口腔機能管理料1 (50%)	90点
小児口腔機能管理料2 (30%)	50点
歯科口腔リハビリテーション料3	50点
口腔管理体制強化加算	50点
小児口腔精密検査	240点
小児舌圧検査	100点
口唇閉鎖力検査	140点
口腔機能実地指導料	46点
小児口腔機能管理料/年間	1,680,000円
小児口腔機能検査料/年間	768,000円
口腔機能実地指導料/年間	441,600円

高 齢 者	
口腔機能管理料 合計点数	150~190点
口腔機能管理料1 (50%)	90点
口腔機能管理料2 (30%)	50点
歯科口腔リハビリテーション料3	50点
口腔管理体制強化加算	50点
口腔精密検査	270点
舌圧検査	140点
咬合圧検査	130点
口腔機能実地指導料	46点
口腔機能管理料/年間	1,680,000円
口腔機能検査料/年間	864,000円
口腔機能実地指導料/年間	441,600円

口腔機能管理料を算定することで

年間 **587520** 点の増点が見込めます

診療報酬改定後の算定イメージ

小 児		高 齢 者	
再診料	59	基本検査	精密検査
基本診療	59	59	59
医学管理等			
実地指導			
歯周病治療			
口腔管理			
口腔機能			
低下症検査			
合計		合計	
生産性			

セミナーにて
大公開します！

セミナーにて
大公開します！

2026年
6月以降

口腔機能管理を「算定できる」は当たり前！
その上で「個別最適型」の口腔機能管理を行うことができる歯科医院へ
「今」シフトすることが求められています！

できていますか？

現状を分析するための

簡易チェックリスト

- ☒ 口腔機能管理料の**算定方法を正しく理解**している
- ☒ **対象年齢(0~17歳・50歳以上)全員**に口腔機能管理の検査を実施している
- ☒ 院内の**診療フロー**に口腔機能管理が組み込まれている
- ☒ ドクターではなく**スタッフが主体**となって検査・管理・指導ができている
- ☒ 患者様の年齢や口腔機能の状態に応じて、**指導や説明の内容を変えている**
- ☒ 口腔機能の結果から**自費診療**(小児矯正・自費義歯等)の案内をすることができている
- ☒ 職種ごとに(歯科衛生士・歯科助手・管理栄養士)**役割が明確**になっている

1項目でも
当てはまらない場合は
要注意!

口腔機能管理型歯科医院になるための
具体的なポイントは **次のページ** でご紹介します！

理想の口腔機能管理型歯科医院モデル

01 口腔機能管理をメンテナンスの「主軸」へ 全世代を通じた個別管理型へのシフト!

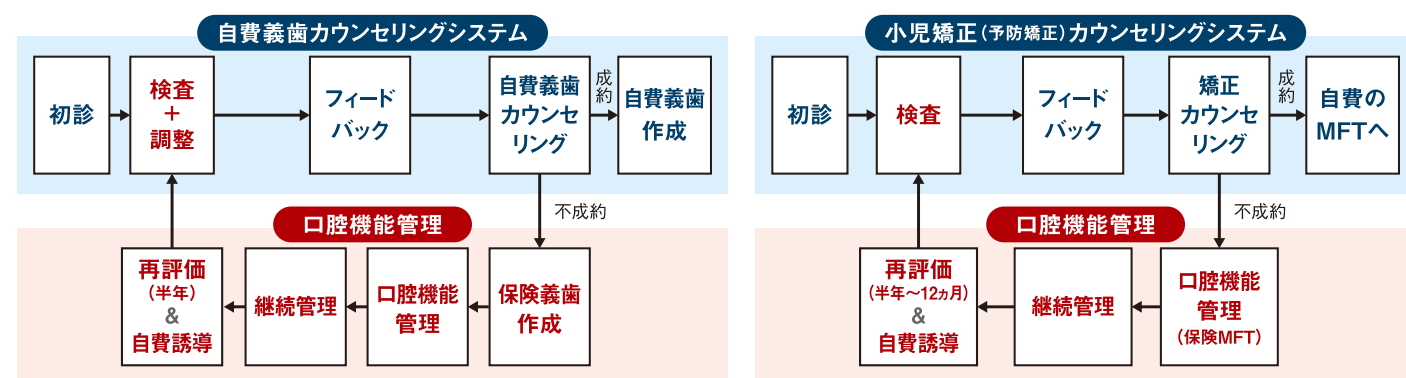
これまでの口腔機能管理は、定期的なメンテナンスの「ついで」に行う付随的なものとして考えられていました。しかし、SPTやP重防といったメンテナンス点数の見直しによる減点への対応や、本来の目的である患者様のお口の健康を生涯にわたって守り抜くためにも、「**口腔機能管理**」そのものをメンテナンスの「**主軸**」へと転換する必要があります。

今まで	これから
対象を絞って検査	全ての患者様に検査を実施
管理料60点+歯リハ350点+口管強加算50点	管理料90点 or 管理料50点+歯リハ350点+口管強加算50点+口腔機能実地指導料46点
画一的な管理・指導	年齢や口腔内の状態に応じた個別最適型の管理
	異常なし 再検査

全ての対象患者様への**検査と個別最適型の管理**を実施!

02 自費治療が自然と成約する 診療フローとカウンセリング体制の構築

左図は義歯、右図は小児矯正の口腔機能管理を起点とした成約までのフローです。保険診療を入口とし、口腔機能の低下や発達の問題を抱える患者様との接点を増やし、情報を啓蒙していくことで自費診療へと繋げることを目的とします。



① 数値化

検査結果と年齢ごとの「基準値」を比較します。「本来あるべき数値」とのギャップをお見せし、患者様に現状を知ってもらいます。

② 啓蒙

「なぜ今、口腔機能を改善しなければならないのか」という理由を伝え、治療に対する価値(デンタルIQ)を高めます。

③ 誘導

最適なタイミングで自費治療(小児矯正や自費義歯)を選択肢の1つとして提案する院内フローとカウンセリングを構築します。

3つの
ポイント

03 スタッフ主導で全てが完結する! オペレーションの仕組み化と多職種連携

検査のルーティン化と、ドクターに依存しない指導・カウンセリング体制を構築し脱属人化!

検査を診療フローへに組み込みルーティン化

小児や高齢者など対象患者様への口腔機能検査を、日常の診療フローに組み込みます。院長依存から脱却し、スタッフ主体で確実に対象者を拾い上げるオペレーションの構築方法を解説します。

ツールを用いた指導・カウンセリングのマニュアル化

お口チェックシートや年齢別のカウンセリングスライドなど標準化された資料を作成することで、スタッフの経験に依存せず一定の質で患者教育ができる体制を作ります。**セミナーに参加いただいた方には、明日から使用できる年齢別の算定に関する資料と、患者説明用のスライドをプレゼントします。**



多職種連携と役割分担の明確化

口腔機能管理において多職種との連携が求められている理由は、「正しく食べる・飲み込む・栄養を摂る」といった口腔機能の管理を、歯科だけで支えることが難しいためです。**管理栄養士をはじめ、保育士、看護師などとも連携できる体制を構築することで、より専門性の高い医療を提供することが可能になります。**

以前から口腔機能管理に力を入れていた

ゲスト医院のご紹介 医療法人 近山歯科医院



ここがすごい!

1 診療フローに口腔機能管理が組み込まれている

初診時の診療フローに口腔機能の検査から管理までを組み込んでいるため、対象患者様を取りこぼさず管理できる体制になっています。

2 年齢・症状別に提供するものが定まっている

年齢や口腔機能の状態に応じて指導内容や管理方法が定まっているため、ドクターに依存せずスタッフ主導で運用できる体制になっています。

3 管理栄養士の活用や職種間連携ができています

職種ごとの役割が明確に決まっているため、スタッフが何を担当するべきかを理解しやすい体制になっています。例えば、赤ちゃんへの対応はDA、その他の口腔機能管理や高齢者対応はDH、栄養相談は管理栄養士が担当します。



明日から医院を変える
ための具体的なノウハウを

セミナーで全て徹底解説します!

セミナー詳細は次のページ!



今回のセミナーでは、いち早く口腔機能管理に取り組まれている「医療法人 近山歯科医院」にご登壇いただきます。同院の最大の強みは、初診からの診療フローに「口腔機能管理」が完全に組み込まれている点です。患者様の年齢別に提供するプログラムが明確に定まっており、スタッフ主導で回る仕組みが構築されています。これからの時代に求められる「個別管理・多職種連携」を踏まえた口腔機能管理の成功モデルとして、ぜひご期待ください。

算 定	抜け漏れを防ぐ！ 2026年改定版「 口腔機能管理料 」の正しい算定手順
検 査	年齢・症状別に必須となる「 導入すべき機器 」とスムーズな検査手順
指 導	明日からすぐ導入できる！ 小児・高齢者別の具体的な 機能トレーニング法
教 育	院長依存から脱却！ スタッフが 自発的に実践できる業務マニュアル
マネジメント	新業務への反発を防ぎ、スタッフの「 やりがい 」を引き出す秘訣
体 制	誰が・いつ・何をする？ DA・DHの明確な「 役割分担と院内ルール 」のつくり方
自 費	保険を入り口に、自然な流れで「 自費診療(義歯・矯正) 」へ繋げる方法
多職種連携	医院のブランド力を上げる！「 管理栄養士 」の活用と連携モデル

成功事例医院での取り組みを **セミナーで全て徹底解説**します！

明日からの
診療で
活用できる

豪華3大特典をプレゼント!

①実際にゲスト医院で
指導している動画

実際に患者様へ
指導・説明
している動画を
お見せします!



②問診用・算定用の
チェックシート

問診・算定の際に
必須となる
チェックシートを
お渡しします!



③実際に使用している
説明用資料

実際の指導・
トレーニングの際に
使用できる説明資料を
お渡しします!



ただ 知識を得る 事例を学ぶ だけではない

明日から導入できる、すべきことがわかる状態にする **2時間30分**

ゼロから
はじめる

口腔機能管理型歯科医院の成り方セミナー

セミナー日程・開催時間

2026年 **7月20日** 10:00~12:30 (受付開始:開始時間30分前~)
船井総研グループ大阪本社
サステナグローススクエア OSAKA
〒530-0001 大阪府大阪市北区梅田三丁目2番123号イノゲート大阪21階
【JR大阪駅の直上、西口改札口に直結】
※2026年1月1日よりイノゲート大阪(梅田)に移転し開催いたします。ご来場の際はご注意ください。

受講料

一般価格 税抜**40,000円**(税込**44,000円**)/一名様
会員価格 税抜**32,000円**(税込**35,200円**)/一名様

会員価格は、各種経営研究会・経営フォーラム、および社長onlineプレミアムプラン(旧:FUNAIメンバーズPlus)へご入会中のお客様のお申込みに適用となります。

2026年 **8月2日** 10:00~12:30 (受付開始:開始時間30分前~)
船井総研グループ 東京本社
サステナグローススクエア TOKYO
〒104-0028 東京都中央区八重洲二丁目2番1号
東京ミッドタウン八重洲 八重洲セントラルタワー35階
【JR「東京」駅、東京メトロ丸の内線「東京」駅 地下直結(八重洲地下街経由)】

お申込み締切

銀行振込み……………開催日6日前まで
クレジットカード…開催日4日前まで
※祝日や連休により変動する場合もございます

※諸事情により、やむを得ず会場を変更する場合がございますので、会場はマイページにてご確認ください。また、最少催行人数に満たない場合、中止させていただく場合がございます。尚、中止の際、交通費の払戻し手数料等のお支払いはいたしかねますので、ご了承ください。

セミナー内容

第1講座

2026年診療報酬改定を踏まえた「口腔機能管理型歯科医院」の時流と展望

2026年の診療報酬改定をうけて、歯科業界で重要視される「口腔機能管理」の方向性を解説します。特に今回の改定予測を踏まえ、0歳から17歳までの小児期における機能管理の重要性がどう評価されるか、そして50歳以上の口腔機能低下症への対応がいかに医院経営の核となるかについて、最新の時流予測をもとにお伝えします。

株式会社船井総合研究所 歯科支援部 小児矯正チーム 高秀 飛雅



第2講座

0歳から17歳、そして50歳以上まで生涯通える「口腔機能管理型歯科医院」の全貌

小児から高齢者まで、全世代の口腔機能を管理する医院システムの実践事例を公開します。単なる検査や算定にとどまらず、口腔機能を医院の強みとして確立し、地域から選ばれるクリニックになるための経営戦略をお話します。

医療法人 近山歯科医院 院長 近山 成宜 氏



第3講座

スタッフが主役! 明日から実践できる口腔機能管理の算定・管理・指導の具体的手法

口腔機能管理の具体的な「算定方法」から「管理方法」までをお話します。ドクターに依存せず、スタッフ主導でカウンセリングや検査、MFT指導を行うためのオペレーションを公開。0歳~17歳の発達段階に応じたアプローチと、50歳以上の患者様への動機づけなど、現場ですぐに使える基本ステップから応用編までを網羅します。

医療法人 近山歯科医院 歯科衛生士 乾 弥生 氏



第4講座

口腔機能管理を基点とした自費診療への展開と収益最大化モデル

口腔機能管理を単なる保険算定で終わらせず、医院の収益を最大化するための「攻め」の仕組みを解説します。小児分野ではMFTや小児矯正への移行率を高めるカウンセリング手法を、成人 高齢者分野ではインプラントや自費義歯へ繋げる「患者育成」の具体的なステップを、成功事例の数値と共に伝えます。

株式会社船井総合研究所 歯科支援部 小児矯正チーム 干潟 卓



第5講座

明日から口腔機能管理型歯科医院になるための実行プラン

本日のセミナー内容を自院に落とし込み、明日から実践するための具体的なアクションプランをまとめます。2026年の改定をチャンスに変え、小児から高齢者まで全世代に貢献できる歯科医院へと変革するための第一歩を提示します。

株式会社船井総合研究所 歯科支援部 小児矯正チーム リーダー 川本 葵



お申込み方法



PCの方はこちら

※6桁の数字も含めて
検索してください

船井総研 142712



<https://www.funaisoken.co.jp/seminar/142712>

船井総研セミナー事務局

[E-mail] seminar271@funaisoken.co.jp [TEL] 0120-964-000 (平日9:30~17:30) ※お電話・メールでのセミナーお申込みは承っておりません。



スマートフォンの方はこちら

右のQRコードを読み取りいただき、
Webページのフォームよりお申込みください。

※お申込みに際してのよくある質問は

船井総研FAQ

と

検索

しご確認ください。

